

文化交流史Ⅱ

科目ナンバリング HSG-102
選択 2単位

菅原 正子

1. 授業の概要(ねらい)

日本は、古代・中世には中国や朝鮮半島と交流しながら文化を形成し、近世末・近現代には西洋文化の影響を強く受けている。前期の授業では、日本と中国・朝鮮半島との交易・文化交流を中心に、軍事的対立にも目を向けつつ、具体的な交流について取り上げ、後期では主に近世・近代の日本と西洋文化との関係について考察する。

2. 授業の到達目標

- ・近世・近代の日本と西洋との具体的な交流について、説明できる。
- ・国際的な広い視野を持ち、世界の中の日本として考える習慣を身につける。
- ・西洋と比較しながら日本文化の独自性について知る。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト50%

小テスト20%

リアクションペーパー30%

※合計点が100点満点で60点以上が合格(単位取得)

※小テストの実施日・方法については授業で説明する。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用せず、毎回プリントを配付する。

5. 準備学修の内容

- ・毎回の授業のプリントやノートを読み直して復習し、次回の授業についての予告にも目を通しておく。
- ・授業で紹介された事からや参考文献に注意し、興味があれば自分でも調べてみる。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回提出するリアクションペーパーには、質問・疑問点や感想など、必ず何かを書くこと。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 大航海時代のアジア |
| 【第3回】 | 来日したイエズス会士たち |
| 【第4回】 | キリシタン大名 |
| 【第5回】 | 天正遣欧使節の少年たち |
| 【第6回】 | 南蛮貿易と南蛮文化 |
| 【第7回】 | 伊達政宗の慶長遣欧使節 |
| 【第8回】 | 鎖国と長崎 |
| 【第9回】 | 外国船の往来と開国 |
| 【第10回】 | 国旗「日の丸」の成立 |
| 【第11回】 | 明治初期のお雇い外国人 |
| 【第12回】 | 渡航した使節と留学生たち |
| 【第13回】 | 服装の西洋化 |
| 【第14回】 | 西洋人がみた日本人 |
| 【第15回】 | まとめ |